

教科 国語科

(1) 評価方法

- ①授業観察（グループワーク、発言等） ②提出物（ノート、ワーク、レポート、振り返りシート等）
 ③書写作品（硬筆、毛筆等） ④話す聞く活動の取り組み（スピーチ、ディスカッション、プレゼンテーション等）
 ④書く活動の作品（意見文、課題作文、鑑賞文、批評文、手紙、和歌や詩の創作等）
 ⑤小テスト（読解、漢字・語句、文法、聞き取り、暗唱テスト等） ⑥定期考査

(2) 観点別評価と学習活動の例

教科目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を次のとおり育成する。 (1) 社会生活に必要な国語について、 (2) (3)							
学習活動 観 点		① 授 業 観 察	② 提 出 物	③	④	⑤	⑥	⑦ 定 期 考 査	指導の重点や評価するに当たって重視する事柄
知識及び 技能	知識・技能	△		○	○	○	○	◎	・ 漢字や文法事項などについての知識が正確に身についているか。 ・ 語彙を豊かにし、適切に使うことができるか。 ・ 古典作品に現れた見方、考え方を知っているか。
思考力・ 判断力・ 表現力等	思考・判断・表現	△	○		○	○	○	◎	・ 表現に注目して相互関係や心情を読み取ったり、根拠を明確にして読んだりできるか。 ・ 課題について自分の考えをもち、深めているか。
学びに 向かう力・ 人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○	○	△	・ 自分の思いや考えを読んで伝え合おうとしているか。 ・ 課題に対して、工夫したり努力したりして自分の力を十分に発揮しようとしているか。
	感性・思いやり	個人内評価							各学習活動における生徒の良い点や可能性、進歩の状況など

(3) 評価規準

【知識・技能】

- ・ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字、語彙、文法事項、言葉遣い、表現技法について理解を深めて適切に扱っている。
- ・ 「情報の扱い方に関する事項」では、情報と情報との関係や情報の整理の仕方について理解している。
- ・ 「我が国の言語文化に関する事項」では、古典作品に現れた見方や考え方を知り、親しむとともに、書写においては字形や目的や必要に応じた書き方を理解し、使っている。

【思考・判断・表現】

- ・ 「話すこと・聞くこと」では話題を設定して構成を検討し、表現を工夫して話している。話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめている。互いに尊重しながら結論を導くために考えをまとめている。
- ・ 「書くこと」では題材を設定し、構成を検討し、自分の考えが伝わる文章になるように記述している。
- ・ 「読むこと」では構造と内容を把握し、それを精査・解釈し、それをもとに自分の考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 各単元の課題に、主体的に取り組もうとしている。
- ・ 言葉が持つ価値に気づき、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。